

小山高だより



令和5年5月15日発行

令和5年度 No.1

静岡県立小山高等学校

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/oyama-h/home.nsf>

侍ジャパン WBC優勝！

校長 鈴木 広隆

3月末、侍ジャパンのWBC優勝に日本中が歓喜に包まれました。WBC期間中の街頭インタビューで「令和になって一番楽しかった」「生まれて一番幸せを感じた」と答える人がいたことが印象的でした。令和になってから、コロナ禍やウクライナ問題、物価の高騰と明るいニュースが少ない中で、侍ジャパンは世の中を明るくし、多くの人々が前向きになったり、元気をもらったり、大きなプラスの影響を与えました。

メジャーリーガーのダルビッシュ有や大谷翔平らの参戦で、今大会のメンバーは「史上最強」ともいわれていましたが、多くのコメンテーターが「単純に豪華メンバーがそろった、という強さではなかった」と強調しています。各チームのトップ選手が集まると、チームがまとまるまで時間がかかるものですが、侍ジャパンには早くから一体感がありました。そこで重要な働きをしたのがダルビッシュです。代表チームの活動のスタートである2月の合宿からチームに合流し、若い選手たちに積極的に話しかけ、「焼肉の会」を企画したり雰囲気づくりに気を配りました。そして、「野球を楽しもう」というマインドをチームに浸透させました。アメリカとの比較をしてみると、侍ジャパンが2月17日からの宮崎合宿から1ヶ月かけてチーム作りをして強化試合を6試合行ったことに対し、アメリカは大会が始まる3日前に集合して強化試合は2試合だけです。このことから、「チーム作り」という点においては大きな差があったことが分かります。

私が侍ジャパンのWBC優勝から学んだことは、集団で何かを成し遂げるには、「チームメイトとのコミュニケーション」と「共通理解」がとても重要であるということです。人は、一人で頑張るより、同じ目標に向けてみんなで頑張ったほうが力が出ます。そして、①目標を明確化し、②目標を達成するとどんな良いことがあるのか、③達成するにはどんなことをすればよいのか、ということを経験することでチームに一体感が生まれます。ダルビッシュが率先してコミュニケーションをとり、「世界一」という共通した目標を明確化し、優勝することで野球の魅力を伝えて日本国中に元気を与えられる。そのためには、一人ひとりがどのようなかたちでチームに貢献すればよいのか、これらのことを共通理解できたからこそ侍ジャパンはどの国よりも「チームの一体感」があったのだと思います。

学校生活では、クラスや学年、部活動、委員会等、集団（チーム）として活動することが多くあります。それぞれの場において、生徒の皆さんが「チームメイトとのコミュニケーション」と「共通理解」を大切に、「一体感」をもって活動する中で成長していくことを期待します。私たち教職員も、チームワークを高め気持ちを一つにして、「生徒の成長」と「魅力ある学校づくり」を目標に、これまで以上に努力していきます。



学 年 部 よ り

■ 今、求められる学力とは何か

1 学年主任 美那川 雄一

質問に応じて自然な文章を作成する対話型AI「ChatGPT」が話題になっています。大学では、学生がレポート試験作成時この機能を用いることに対して、様々な規制を始めました。世界中でも議論がされており、欧州では情報漏洩などの視点から規制が入りました。

IT推進派は、こうした規制に批判的です。彼らは、Society5.0を歓迎する立場であり、AIとの共存を訴えます。一方で、教育学者は、AIの安易な利用が学習者の思考力や表現力の育成に悪影響を及ぼしかねないと主張します。急速に進む科学技術の進歩は、教育の在り方に大きな変更を要求しています。その中で、現在、高校生に求められている学力とは何でしょうか。

小山高生には、AIと人間の共存のメリットとデメリットを俯瞰して考察し、高校生が学校教育の中で何を、どこまで使うことが「自分たちのためになるのか」について対話をしてもらいたいと思います。AIは質問には答えてくれますが、人間の生き方に責任をもってくれるわけではありません。生き方に責任を持つことができるのは、自分自身だけなのです。

小山高校には、自分の目標に向かって「前に踏み出し」、困難な課題に対して「チームで活動し」、粘り強く「考え抜く」ような経験があります。様々な経験を通じて、自身の生き方に責任を持つ、自立した人間へと成長する場が、小山高校です。

■ 前に踏み出す

2 学年主任 長尾 亮祐

私自身の1年間を振り返ると、初めてのことや慣れないことに振り回されていたような気がしています。正しくは、「初めて」や「慣れない」を言い訳に指示を待ち、取り掛かりが遅い結果振り回されていたのかもしれませんが。では、生徒の様子はどうかだったかというと、慣れない高校生活に順応し、新しいことに挑戦しながら日々成長を続けていました。新入生を迎え入れた2年生からは頼もしさを感じることも少なくありません。そんな2年生はこれから様々な場面でこれまで学校を引っ張ってきた3年生に替わり小山高校の中心へと代替わりを進めていきます。また、進路選択や修学旅行などの多くの「初めて」や「慣れない」経験をすることになるのではないのでしょうか。それに加えて新型コロナウイルスへの対応も落ち着きを見せ「久しぶり」の経験も加わるでしょう。昨年度、小山高校ではグラデュエーションポリシーを掲げ、教室に掲示もされています。私も昨年度の反省を生かし生徒とともに、自分自身の人生にとって一度しかない「初めて」の「慣れない」令和5年度に一步前に踏み出し、駆け抜けていきたいと考えています。

■ 10年目の春

3 学年主任 村松 佑哉

小山高校に転勤してきて10年目を迎えました。小山の春は、実に様々な表情を見せてくれます。今年は早くから暖かい春で、グラウンドの桜はあっという間に咲き、あっという間に葉桜に色合いを変えてしまいました。マスク生活が当たり前になってしまい、マスクを取ることに抵抗を感じている人の方が多いように感じます。桜の色合いのように、マスクを取ることでその人の顔の表情が変化して見える時は、もうすぐそこです。

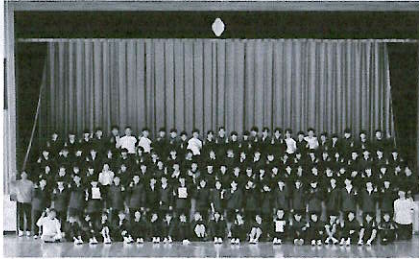
さて、先日3年生学年集会では「小山高校の顔になる」というテーマでお話をさせていただきました。学校行事で、進路活動で、学校内外で3年生の行いが小山高校を表すということです。その為には、自立することと自律できることがポイントとなってきます。この2つの「ジリツ」の状態こそが、大人に求められる姿だと思います。

選挙権が与えられ、法律上は成人として扱われる年齢になります。大人への一步として、小山高校の顔として、2つの「ジリツ」の姿で巣立っていく姿を期待しています。

学 年 行 事

4月18日に学年行事が行われました。クラス・学年の親睦を深め、団結力を高めることができました。

1年生 ～小山町ウォークラリー～



2年生 ～大学見学・横浜～



3年生 ～鎌倉～



令和5年度 新着任者紹介

今年度から赴任された先生方を紹介します。

①教科 ②前任校 ③趣味・特技 ④コメント

わたなべ よしお
渡邊 祥雄 教頭先生

- ① 保健体育
- ② 御殿場南高校
- ③ バレーボール、山歩き、スキー
- ④ 小山高校の一員になれたことを嬉しく思います。素直で元気な生徒の皆さんと、若くてエネルギッシュな先生方とともに、地域から応援される学校づくりに頑張っていきたいと思います。

やまなし なつみ
山梨 菜摘 先生

- ① 国語
- ② 富士高校（定時制）
- ③ 美術鑑賞、学芸員資格
- ④ 今年度より育休から復帰しました。3年間お休みをいただいていたので心新たに頑張ります。

さかくち れみ
坂口 麗美 先生

- ① 英語
- ② 御殿場高校
- ③ 読書が大好きです。
- ④ 新しい学校でも“Do What Makes You Happy.”をモットーに頑張ります。よろしくお願いします。

さいとう あつし
齊藤 敦 先生

- ① 理科（化学）
- ② 沼津城北高校
- ③ スキー、バレーボール
- ④ 教員生活最後の予定です。やり残すことがないようにがんばります。

せきの ゆういち
關野 祐一 先生

- ① 保健体育
- ② 沼津城北高校
- ③ 弓道
- ④ 2度目の小山高校になります。頑張りますのでよろしくお願いします。

いわさき はじめ
岩崎 肇 主任

- ① 事務
- ② 富士特別支援学校
- ③ 楽器演奏
- ④ 再任用です。よろしくお願いします。

はやし こうき
林 宏輝 主事

- ① 事務
- ② 新規採用
- ③ アニメ鑑賞、珠算
- ④ 分からないことばかりですが、早く仕事を覚えて、充実した学生生活のサポートをしたいと思っています。よろしくお願いします！



令和5年度笙陵祭テーマ

翔 破

鳥のように一人ひとりが羽ばたけるように
笙陵祭を成功させ、無事にやり遂げられるように

本年度は6月2日(金)文化の部校内発表、6月3日(土)文化の部一般公開、6月4日(日)体育の部の3日間で行われます。

文化の部は文化部の展示、ダンス部や吹奏楽部のパフォーマンスで全校が盛り上がります。

体育の部はカラーパフォーマンスをはじめ、HRリレーなど多くの競技があります。来場する皆様に楽しんでいただけるように、休み時間も使って力を合わせて準備しています。

多くの方々に成果を見ていただきたいと思います。



「今までで一番盛り上がる笙陵祭にする！」

実行委員長：山口 敬介

「一生思い出に残る笙陵祭になるように全力を尽くす！」

副実行委員長：西本菜月実

「最高の思い出にする！」

ステージ担当：鈴木 冬弥

「最高に盛り上がる笙陵祭にする！」

ステージ担当：鈴木 芳樹

「一生忘れられない笙陵祭にする!!」

ステージ担当：山口 健太

「全体が盛り上がるような装飾にする！」

装飾担当：中島 伶奈

「今までの中で一番いい笙陵祭にする」

展示担当：杉山 華怜

「今までとは一味違う笙陵祭にできるようにする！」

会計担当：中尾 心音

「全員が全力で楽しめるよう、自分の仕事に責任を持つ」

広報担当：渡邊 朱莉



赤カラー【11・23・31HR】

「今までで一番の笙陵祭にする！」

カラーリーダー：岩田 諒生

「最高の笙陵祭にする！」

副カラーリーダー：友田理々華

黄カラー【13・21・32HR】

「全員で全力で楽しんで戦うように盛り上げる!!!!」

カラーリーダー：草間 真央

「優勝に導けるよう全力で盛り上げる！」

副カラーリーダー：米田里奈子

青カラー【12・22・33HR】

「みんなを笑顔にする雰囲気をつくる！」

カラーリーダー：山崎 裕太

「関わる全員が全力で楽しめる雰囲気をつくる！」

副カラーリーダー：勝間田空羽



ホームページも
更新中!

小山高校
インスタグラム
続々更新中!

OYAMA_H

教育相談室より

新学期が始まって1ヶ月が過ぎました。ちょっと元気がない、体調がすぐれないなどと訴えるのは身体が助けを求めているシグナルです。自分では気づかないうちに疲れが溜まっているということもあります。

小山高校の相談室は、今年度もスクールカウンセラーとして、臨床心理士の村上久美子先生をお迎えすることとなりました。生徒だけではなく、保護者の皆様にも気軽に利用していただきたいと思います。また、スクールカウンセラーには「守秘義務」があり、相談内容等が外部に伝わることはありません。在任中はもとより、退任後も同様ですので、安心してご相談ください。

*スクールカウンセラーによるカウンセリング

小山高校教育相談室

(担任を通して予約が必要です TEL0550-76-1188)

【1学期の来校予定日】

5/23、6/12、20、7/4、18

いずれも13～15時



事務室から

【在学証明書・通学証明書の発行について】

必要な場合は事務室窓口にある「証明書交付願」に記入の上、事務室窓口に提出してください。昼休みまでに申込をした分は、当日に担任をとおして交付します。昼休み以降の申請分は、翌日の交付となります。

【身分証明書について】

1年生の時に発行した身分証明書は、3年間使用しますので大切に扱ってください。

破損や紛失した場合には、担任に申し出て再交付手続きをとってください。

住所変更した場合は身分証明書の修正が必要ですので、担任に申し出てください。

【諸会費について】

6月に第2期 諸会費の口座振替があります。

口座振替日	口座振替金額
6月30日(金)	1年生 60,000円
	2年生 65,000円
	3年生 55,000円

※再度振替はありませんので、**残高不足とならないよう、前日までの入金**に御協力ください。

行事予定

月	日	曜	行 事
5月	22	月	
	23	火	
	24	水	
	25	木	45分授業・笙陵祭準備
	26	金	45分授業・笙陵祭準備 眼科検診(1)(13:00～)・第1回英検1次
	27	土	
	28	日	
	29	月	45分授業・笙陵祭準備
	30	火	45分授業・笙陵祭準備
	31	水	45分授業・笙陵祭準備 体育の部総練習・LHR
6月	1	木	45分授業①～③ 笙陵祭準備
	2	金	笙陵祭文化の部(校内発表)
	3	土	笙陵祭文化の部(一般公開)
	4	日	笙陵祭体育の部 雨天時 水曜授業
	5	月	代休
	6	火	代休
	7	水	(体育の部予備日) 教育実習(～6/27)
	8	木	歯科検診
	9	金	第1回漢検
	10	土	大学入学共通テスト模試(3)
	11	日	大学入学共通テスト模試(3) 足柄地区区民球技大会
	12	月	
	13	火	
	14	水	
	15	木	歯科検診
	16	金	
	17	土	強化勉強会(3)
	18	日	強化勉強会(3)
	19	月	
	20	火	熱中症予防講座
	21	水	
	22	木	歯科検診
	23	金	
	24	土	
	25	日	
	26	月	⑦文理選択説明会(1) ⑧科目選択説明会(2)
	27	火	
	28	水	
	29	木	
	30	金	

() は該当学年を示す。

生徒写真掲載についてのお願い

生徒の学校生活、学校行事、部活動等への取り組みの様子を少しでも保護者の皆様に知っていただくために、小山高だよりやホームページ、インスタグラムにおいて生徒の写真を掲載しています。お子さんの肖像権の問題もありますが、御理解をお願いいたします。